

8月出荷できる丹波黒大豆系エダマメの育成

農林センター 作物部

要旨

需要が最も多い盛夏期に出荷できる丹波黒大豆系エダマメの育成をするため、「紫ずきん」を材料として品種改良を進めてきた結果、8月出荷が可能で、大粒、良食味等丹波黒大豆の性質を受け継ぐ新品種、「夏どり丹波黒1号」と「夏どり丹波黒2号」を育成した。

成果の概要

「夏どり丹波黒1号」は、「紫ずきん」を受粉親に、8月に出荷可能なエダマメ「夏の装い」を花粉親として交配して得られた後代から選抜した品種であり、「夏どり丹波黒2号」は、「紫ずきん」にガンマ線を照射して突然変異を誘発させた個体の後代から選抜した品種である。

収穫期は、両品種とも、5月中旬に播種すると8月10日頃、5月下旬に播種すると8月20日頃となり、8月出荷が可能である（表1、図）。

草姿はコンパクトで着莢密度が高く枝付き出荷に適しており、莢は、両品種とも「夏の装い」より大きく、大粒である（表1）。

食味評価は、両品種とも「夏の装い」を上回る（表2）。

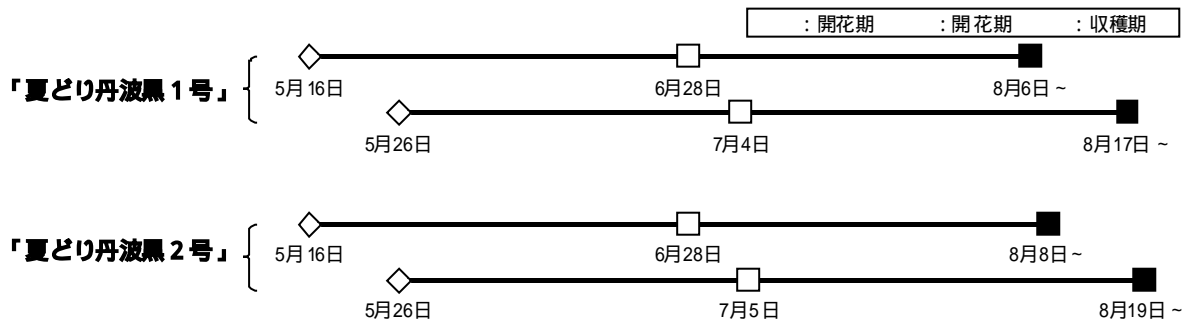


図 新品種の播種期別に見た開花期・収穫期（平成20年）

表1 新品種の収穫期と収量・2粒莢の大きさ（平成21年）

品種	収穫期 (月/日)	莖長 (cm)	総莢数 (莢/株)	着莢密度 ^{a)}	上莢重 ^{b)} (kg/10a)	1莢重 ^{c)} (g)	2粒莢の大きさ		
							莢長 (mm)	莢幅 (mm)	莢厚 (mm)
「夏どり丹波黒1号」	8/21	34.1	104.3	3.1	931	2.76	53.8	14.5	9.9
「夏どり丹波黒2号」	8/23	33.2	96.0	2.9	843	3.20	59.2	14.9	10.6
「紫ずきん」	9/27	77.2	88.7	1.1	1050	3.94	55.6	16.1	13.1
「夏の装い」	8/07	25.9	81.3	3.2	625	2.65	51.0	13.5	9.1

播種期：5月26日、栽植密度：3.7株/m²（条間90cm×株間30cm）

a) 着莢密度 = 総莢数 ÷ 莖長。

b) 「紫ずきん」は莢厚11mm以上の莢、その他は莢厚が十分肥大したと認めた莢について計量した。

c) 1莢重 = 上莢重 ÷ 上莢数

表2 食味評価（平成21年）

品種	外観	食味	総合
「夏どり丹波黒1号」(5/26播種)	4.3 **	4.1 **	4.2 **
「夏どり丹波黒2号」(5/26播種)	4.0 **	3.8	3.9 **

対照品種：「夏の装い」(6/5播種)、パネリスト数：11名

対照を3とし、1：不良～5：良好の5段階評価。

**は、対照品種に対し1%水準で有意差有り。

(問合せ先：0771-22-5010)